

事前意見及び回答

議事2 高槻市高齢者福祉計画・介護保険事業計画進捗状況（令和5年度上半期）について

No.	提出委員	ご質問・ご意見等	回答
1	きよた委員	<p>【資料1・P5】シルバー人材センター</p> <p>就労機会の拡大、社会参加の促進、生きがいづくりなどの、シルバー人材センターの役割は大切です。</p> <p>その一方で、高齢者が就労を希望する要因に、公的年金の水準が低すぎ、生活のために「働かざるを得ない」実態があります。</p> <p>日本では、「収入が欲しいから」が51.0%のトップで、「仕事が面白いから」と答えた人は15.8%にとどまりますが、ドイツやスウェーデンでは「仕事が面白いから」がトップで、「収入が欲しいから」と答えた人は少数派です（内閣府「高齢者の生活と意識に関する国際比較調査」、2020年）</p> <p>以上の点からも、賃金や労働条件、労働災害補償などの改善も必要です。また、高齢者の就労の場の確保のため、市からシルバー人材センターに対する支援など取り組みを教えてください。</p> <p>また、契約金や会員数は、ほぼ横ばいですが、取り組みや成果、インボイス制度への対応について教えてください。</p>	<p>回答所属：長寿介護課</p> <p>高齢者の方々が、長年培ってきた知識・経験・技能を生かし、就業を通じて、生きがいの充実を目指しながら社会貢献できるよう、シルバー人材センターの事業運営に対して補助を行う等の支援をしています。</p> <p>会員数拡大等の取組については、広報誌への折込チラシの全戸配布や「会員1人紹介キャンペーン」、実施企業や事業所への訪問、また、一般家庭にチラシを配付するなど、高齢者の就業機会の拡大につながる取組により、入会のきっかけにつながっているとお聞きしています。</p> <p>インボイス制度については、会員への周知等を含め適正に対応し、引き続き、全国シルバー人材センター事業協会、大阪府シルバー人材センター協議会と連携して取り組まれています。</p>

No.	提出委員	ご質問・ご意見等	回答
2	きよた委員	<p>【資料1・P13】高齢者虐待防止の取組</p> <p>「独居高齢者」や「老老介護世帯」が急増し、高齢者の貧困・孤立が進行するなか、高齢者虐待、孤立死・孤独死など様々な形で問題があらわれています。虐待については、2023年度上半期は108件で、2022年度の年間134件と比べて多くなっています。虐待が増えた要因を教えてください。</p> <p>また、国土交通省の調査によると、2003年時点では65歳以上の高齢者による孤独死は1,441件でしたが、2018年には3,867人と15年でおよそ2.7倍増加しています。高槻市は把握していますか。また、課題についても教えてください。</p> <p>相談支援と介護サービスの活用などが大切です。地域包括支援センターや訪問介護は、高齢者虐待、孤立死の防止にどのように役立っているとお考えですか。</p>	<p>回答所属：福祉相談支援課</p> <p>高齢者虐待が増加した要因についてですが、明確な理由については把握していませんが、高齢者の増加や、資料にもございますように、警察からの通報件数が増加しており、平時からの警察等との連携強化が図られているのではないかと考えています。</p> <p>また、孤独死の件数の把握は困難でございますが、地域の身近な支援者である民生委員児童委員との連携の中で、支援が必要と思われるひとり暮らし高齢者の把握につながることがあります。しかしながら、中には支援を拒否するケースもあり、介護サービス導入への困難さ、課題があると考えます。</p> <p>ご質問のとおり、相談や介護サービスの活用は非常に重要であり、支援機関につながることで孤独、孤立の解消も期待されるため、さらに相談しやすい体制となるよう地域包括支援センター等の支援機関の周知に努めて参りたいと考えています。</p>
3	きよた委員	<p>【資料1・P25】介護サービス受給者の状況（訪問介護）</p> <p>要介護等認定者数20,944人に対し、居宅サービス受給者数は、12,874人、61.5%と多くの方が利用しています。</p> <p>厚労省は、「介護事業経営実態調査」で訪問介護の収支差率が7.8%となり、全介護サービス平均を上回ったことをあげ、訪問介護の介護報酬引き下げの根拠にしています。</p> <p>地域を1軒ずつ回る事業所の訪問介護とサービス付き高齢者住宅など集合住宅に併設され、ヘルパーが住宅内の利用者を回る併設型事業所とでは、条件も違い収益率も変わってくると思います。</p> <p>高槻市では、地域を回る事業所と併設型事業所の経営実態をそれぞれ分けて把握していますか。</p>	<p>回答所属：福祉指導課</p> <p>訪問介護の運営に関するご質問について、個別の事業所の収支は把握していませんが、訪問介護事業所とサービス付高齢者住宅等との併設や隣接の状況については把握しています。</p>